

行政の窓

平成 16 年度北海道木材需給見通しについて

【需要について】

景気の低迷等により需要量は引き続き減少しており、平成 15 年度見込みは 830 万 m³、16 年度も製材用、パルプ用、合板等の減少により 798 万 m³ (96%) と 800 万 m³ を若干下回る見通しです (図 1、2 参照)。

【供給について】

供給量は平成 15 年度見込み 834 万 m³ に対し、道産材、輸入材ともに減少することから、16 年度は 806 万 m³ (97%) の見通しです (図 3 参照)。

【輸入材依存率について】

需要量に占める輸入材の割合は、平成 15 年度見込み 59.8% に対し、平成 16 年度は 59.9% (0.1 ポイント上昇) の見通しです。(図 3 参照)
* () 内は対 15 見込みです。

(水産林務部木材振興課

林産振興グループ)

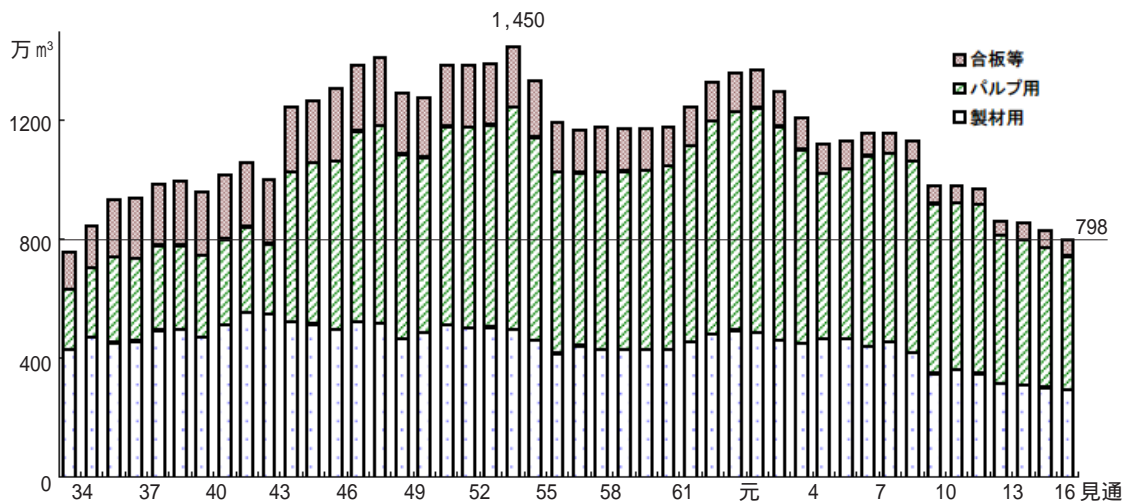


図 1 需要量の動向

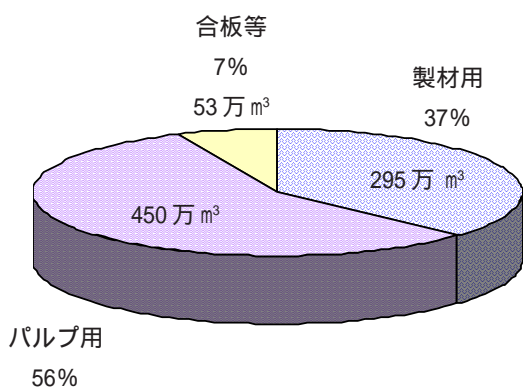


図 2 H16 年度見通し 798m³

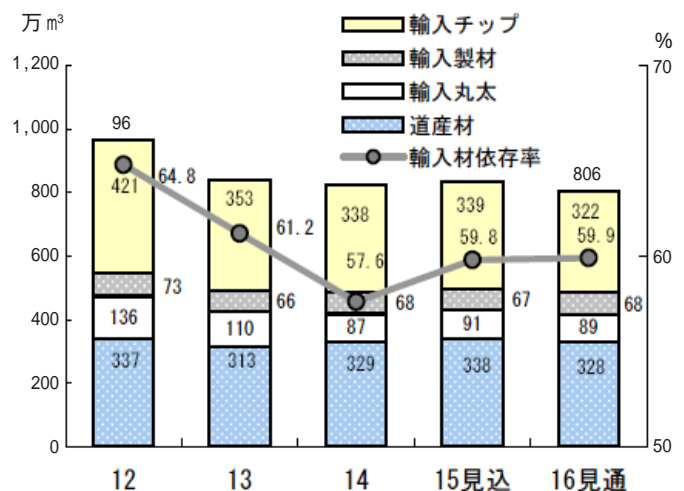


図 3 供給量の動向

注：指定のあるもの以外、各グラフとも原木消費量または原木換算値